

【別紙】 令和4年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立木曾呂小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	主体的に学習し、感性豊かな心を持ち、心身ともに調和のとれたたくましい児童の育成 「進んで学ぶ・豊かな心・たくましい体」
目指す学校像	『笑顔あふれる、元気が潤いのある学校 ～ 地域に根ざした教育の推進 ～』 「楽しい学校・温かい学校・元気な学校・美しい学校」

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	6名
事務局 (教職員)	3名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 5 年 2 月 1 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標、目指す学校像の具現化に向け、組織として機能するため、教職員個々の資質・能力の向上を図り、学校全体の教育力向上が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の共通理解に基づいた共通行動、共通指導の徹底 教職員のライフステージに応じた資質・能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 現状に即した「木曾呂小スタンダード」の見直し・改善 教職員の共通理解を図るための情報共有と反復確認 人事評価制度を活用した教職員の意識統一と意欲向上 	<ul style="list-style-type: none"> 「木曾呂小スタンダード」を次年度に向けて見直し、共通指導に取り組みやすい具体的な内容を加える等改善した。 人事評価制度による定期面談や日常の会話、面談等を通して、教職員の意識統一と意欲向上に取り組んだ。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の共通理解に基づいた共通行動、共通指導の徹底を図る。 人事評価制度に基づく授業観察、定期面談、日常の会話、面談等を活用し、教職員の育成を継続して取り組む。
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続しつつ、学習指導要領に則った教育活動を展開し、学力向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルに基づいた教育計画の編成 基礎・基本の定着と、「主体的・対話的で深い学び」を効果的に取り入れた授業の展開 ICTやGIGAスクール端末を効果的に活用した授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 「木曾呂小学校学力向上プラン・課題解決プラン」の実施 家庭学習の定着を図るための家庭との連携 体育的活動、授業の工夫 ICTを授業で効果的に活用するための研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大防止対策を継続し、PDCAサイクルに基づいて教育活動に取り組んだ。 基礎学力の定着を図るため、低・中・高学年に分けた「木曾呂っ子学習の手引き」を保護者に配布し、協力を依頼した。 GIGAスクール端末を効果的に活用する研修を実施し、授業に取り入れた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの共同体」による学校改革に伴う授業改善に取り組み、学力の向上につなげる。 基礎学力の定着を図るため、引き続き、家庭の協力を求めていく。 感染状況等を見極めつつ、体力向上に向けた取組を工夫していく。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域の方々との「協働」による学校づくりの推進を図るため、学校運営協議会での意見聴取を反映し、組織体制の強化を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動の積極的な情報発信 学校運営協議会の円滑な実施 現状に即した、学校応援団の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりやホームページの充実 GIGAスクール端末の活用 学校運営協議会における意見聴取、熟議の実施 学校応援団との連携強化 幼小、小小、小中、小高の計画的、積極的な交流 	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育部を中心に、ホームページの更新頻度を上げることができた。 感染状況等を見極め、昨年度以上に、学校応援団と連携することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 更新頻度だけではなく、より有益な情報発信を目指し、内容の改善に取り組んでいく。 感染状況等を見極めつつ、学校応援団との連携を図るとともに、幼小、小中、小高の計画的な連携にも取り組んでいく。
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習の質を高めるため、教員の授業力・教師力の向上を図る必要がある。 当事者意識を醸成し、教育公務員としての資質・能力を向上させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の指導に生かせる研修(実践研究)の実施による教員の授業力・教師力の向上 教育公務員として必要な資質・能力の向上につながる当事者意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づく校内研修の充実 日常的な授業観察を通じた指導・助言 倫理確立委員会を核とした研修の充実 人事評価制度を活かした指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に教室訪問や授業観察を行い、適宜指導・助言を繰り返した。 本校の児童が好きなペア・グループ学習を意図的に取り入れた授業の研究に取り組み始めた。 倫理確立委員会による研修を計画的に実施し、不祥事根絶に向けた教職員の意識の醸成を図った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの共同体」による学校改革に伴う授業改善に向けた研究を進め、授業力向上を図る。 不祥事根絶に向け、教職員の当事者意識や危機管理意識の醸成を継続して取り組む。
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 開校27年目を迎え、施設設備の老朽化が進み、適宜修繕が必要である。 個人情報や会計に係る規程を随時見直し、コンプライアンスの徹底を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的、定期的安全点検による危険個所の早期発見と早期改善 個人情報管理や適切な予算執行による事故防止 	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の計画的、日常的な安全点検 清掃指導(黙静清掃)の徹底 各校内規程の見直し・改善と周知徹底 コンプライアンスに係る研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的、日常的な安全点検の実施、早期改善に努め、施設・設備に係る事故は0であった。 校内規程を随時見直し、教職員の共通理解を図った。 適切な予算執行を進めるとともに、会計事故防止に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検の確実な実施と早期改善を継続していく。 会計事故防止に向け、集金方法等の改善を進めるとともに、教職員の意識の醸成を図る。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和5年2月4日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 教師が、熱心に指導をしている様子が伝わる。教師の指導が児童に浸透するよう、継続した指導を願う。 良い取組を次年度以降につなげていくため、良い指導法等を継承していく仕組みが構築できると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「with コロナ」を念頭に、児童のスキルを伸ばす効果的な仕掛けに、今後も取り組んでほしい。 「学びの共同体」による学校改革を推進し、成果につなげるため、家庭(保護者)や地域との連携を深めていけると良い。
<ul style="list-style-type: none"> 学校が今取り組んでいることを知らない、家庭・地域との協働は図られない。児童が生き生きと学んでいる姿を見られるようにすることが必要である。 コロナ禍以前に行われていた交流活動を再開できるように、関係校と連携を図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの共同体」による学校改革に伴う授業改善に向けた研究を進め、授業力向上を図る。 不祥事根絶に向けた取組を継続してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 実生活に役立つ、自発的に考えさせたりする授業が展開されている。継続した取組を願う。 授業内容が幅広く感じている。コロナ禍の制限が収まる中で、より良い授業内容となるよう研究してほしい。 不祥事根絶に向けた取組を継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 転落防止柵の設置や投てき板の改修等、施設・設備等の管理が進められている。今後も施設・設備等の管理を継続し、事故0が継続されることを願う。 事故防止のため、視覚に訴える方法は良い。その際の示し方について、より良いものとなるよう検討してほしい。